



申1号

## 第42回定期大会発言等に基づく申し入れを行う!

大会では、繰り返し発生している懲罰的日勤教育や、人権侵害・人間破壊と言える強制転勤が実施されようとしている現実が出されました。社員への管理強化を推し進めることにより「命や安全」が脅かされていることに対して、JR西日本で発生した福知山線脱線事故の前夜と同じ状況に陥ってしまったとの危機感と、労働組合として安全とそこで働く労働者を守る為に、是々非々の姿勢で向き合っていく重要性をあらためて一致しました。

6月16日未明、協力会社社員が感電・受傷しお亡くなりになる痛ましい事故が発生しました。JR東労組中央執行委員会として「緊急声明」を发出し議論していますが、グループ・パートナー会社を含めて、安全問題が重要課題となっています。職場では「安全がトッププライオリティ」と位置づいているとは言えない事象も発生し、「4M4E」分析手法等による徹底した原因究明や「三現主義」の徹底などが薄れ、過去の痛ましい事故に真摯に向き合い学び、労使で築き上げてきた「責任追及から原因究明」などの安全哲学や安全風土の崩壊の危機ではないかと危惧しています。

また、離職者増・採用者減などによる要員不足の中、組織再編や各種施策が矢継ぎ早に進められ、「融合と連携」による働き度の高まりや、教育・訓練の不十分さ、系統問わず技術・技能継承の課題が発生している実態や声があげられ、安全・サービスレベルの低下がより一層危惧されます。そして、新たなジョブローテーション実施の運用においては、幾度となく問題が発生し議論しているにも関わらず、労使の議論経過と確認事項を逸脱する運用が発生し続け、誇りや責任感・意欲の低下に繋がっていることや、適応障害や心身異常により病気休職をも余儀なくされている事象は到底看過できません。

したがって、労使で危機感の一致をはかり、職場で発生している問題や事故・事象の原因究明と根本的な解決に向け真摯に向き合い、安全で安心して働ける職場と風通しの良い職場を構築することが必須であることから、以下の項目を申し入れ団体交渉を行います!

1. 「グループ安全計画2023」の成果と課題を明らかにし、三現主義の徹底や「4M4E」分析手法等による徹底した原因究明により、安全第一の職場を構築すること。
2. 繰り返し発生するパワーハラスメント行為を撲滅し、安全で安心して働ける職場と風通しの良い職場を構築すること。
3. 異動前後において個々人の特性や得手不得手を正しく把握・尊重し、「新たなジョブローテーションの実施」等の労使の議論経過と確認事項を遵守し、正常に施策を運用すること。
4. 本社主導で行っている知悉度確認の目的を明らかにすること。  
また、実施する場合は不安や不信を与えることなく、安全レベルの維持・向上に資する取り組みとすること。
5. 技術・技能継承を確実にを行うために、  
現業機関への技術専任職の配置と指導体制を強化すること。
6. 異動や担務変更等により新たな業務を行う際は、  
教育・訓練を確実に実施するとともに本人の不安を解消すること。



## 安全で安心して働ける職場を構築しよう!